

民生委員活動に密着！



民生委員の活動として、地域の高齢者の見守り・訪問があります。委員として12年活動されている城西学区の西野さんの活動を紹介します。

この日は、彦根市立西中学校の生徒が民生委員と一緒に城西学区・城北学区の高齢者訪問し、生徒らがつくったクリスマス・お正月カードとマリーゴールドの種をお渡しするというものです。

この活動は平成26年から行われていて、地域の皆さんも楽しみにしているようでした。中学生が訪問すると、笑顔で「来てく

れてありがたアサガオの種も聞こえてきました。

「毎年の訪問を楽しみにされている方も多くおられます。子どもも高齢者もお互い関わるのが減っている時代ですし、この取り組みはこれからも続いてほしいです。」と西野さんは話します。



ひでたろう
西野 秀太郎 さん

ありがとう、そう言われると「ほっと」します。

「西野さんいつもありがとう。これを見て。手すりつけてもらったよ。」ある人が玄関にある手すりを見せながら西野さんに話しかけていました。以前に足が悪いという話を耳にしていた西野さんは、介護の必要性を感じ、地域包括支援センターにつなぎ、手すりを設置してもらえたそうです。

西野さんは続けて「日々、地域の方々がどのような状況なのかはできるだけ把握しておこうとしています。相談されたらなるべく早くに対応するよう心がけていますし、民生委員だから、と信頼し心を開いてさまざまな相談をしてもらえます。相談を受け、実際に生活環境が改善されたと聞かされると、「ほっと」

します。やっぱり、こういう時に民生委員をしていて良かった、と感じますね。」と話しました。

「私も委員になるまで、どのようなことをしているのかかわがほとんどでした。民生委員・児童委員になるために特別な知識や資格は必要ありません。その中でも、積極的な人と話したいです。民生委員になる人になっても

主任児童委員活動に密着！



かづこ
濱口 嘉津子 さん

よしこ
青山 好子 さん

高宮学区で主任児童委員を務める青山さんと濱口さん。この日委員と合同で開催している親子ひろば「わいわいひろば」の活動に

私の元気の源は、子どもたちの笑顔

もともと保育士をしていた濱口さんは「ここ（わいわいひろば）に来ていただくと、子どもたちは楽しそうに遊んでくれるし、親御さんたちもお互い話をしながら情報交換もできるし、それが息抜きになってくれていると私たちも嬉しいです。」と話します。「会うたびに大きく成長する子どもたちの姿を見ると、委員をしていてよかったなと感じます。」と続け、子どもたちの元気な姿が自分自身の元気の源だと嬉しそうに話してくれました。

子どもも親も、地域も、笑顔に

「最近では、近所のつながりがだんだんと少なくなっていますが、私たちの活動が地域の活性化につながってほしいと願っています。」そう話すのは、前任者の方から声をかけられたことがきっかけで委員となった青山さん。秋には小学生とその親を対象とした、サツマイモ堀り体験を企画したそうです。「子どもたちも一緒に来てくれた親御さんたちも楽しそうだったし、行事の次の日のあいさつ運動で、参加した子から「楽しかった！またしたい！」って言ってくれた時は、とても嬉しかったです。またしようと思えるし、こんな風に子どもたちが喜んでいる姿が、委員をしていてよかったと感じる瞬間です。」と話します。

は高宮学区の民生委員密着しました。

参加者の声

おもちゃもたくさんあってたくさん遊ばせられるし、委員さんたちもいてくれるので安心して子どもを任せられて息抜きになっています。他のお母さんたちと色んな話ができる機会でもあるので、とても助かっています。

民生委員・児童委員 Q & A

彦根市には何人の民生委員・児童委員がいますか？

約230人です。また、約4割の人が仕事をしながら活動していて、20代～40代の人もいます。

どのようなことが相談できますか？

介護や病気の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的な不安など、生活上の困りごとなどを相談してください。もちろん、個人情報やプライバシーに配慮して活動します。

民生委員・児童委員になるために資格や経歴が必要ですか？

特別な資格や経歴は必要ありません。彦根市では、その地域に住んでいる18歳以上の人から、自治会の推薦により候補者が選ばれています。新しく委員となったら、引継ぎや研修会などを通して、委員として必要な知識を習得できます。

活動は1人で行いますか？

担当地区はありますが、委員同士が定期的に集まり、日頃の活動について意見交換を行っています。また、市の職員や、彦根市社会福祉協議会の職員も日々の活動をサポートしています。

あなたも
民生委員・児童委員になって
活躍してみませんか？